

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	国際交流センター
評価基準 4	教育内容・方法・成果
中項目 4-2	教育課程・教育内容
点検・評価項目(1)	4-2-1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
評価の視点	必要な授業科目の開設状況
	順次性のある授業科目の体系的配置
	専門教育・教養教育の位置づけ
点検・評価項目(2)	4-2-2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
評価の視点	学士課程教育に相応しい教育内容の提供
点検・評価項目(3)	4-2-3 国際化に対応した教育を行っているか。
評価の視点	教育課程における国際化の推進
点検・評価項目(4)	4-2-4 教育課程の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 点検・評価

【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-2-1	・2011 年度に、それ以前の編成内容を引き継ぎつつ改善する形で留学生科目を新カリキュラムへ移行させ、そこで必要な授業科目の編成に努めている。 ・体系的な科目編成を維持する授業担当者（「日本の歴史」「日本の文化・芸術」）の確保に不安定要素がある。
4-2-2	・学部横断的あるいは学部独自の課題や取り組みについて、連携が希薄になっているため、外国人留学生にとってコアとなる留学生科目が各学部学科のニーズに合致しているか不明である。
4-2-3	・留学生教育と留学生研修旅行、地域交流（小・中・高校訪問）等の諸活動が連動していない。 ・留学生と日本人学生を対象とする留学生政策や留学生問題に関する授業が設置されていない。
4-2-4	・留学生科目の検証に当たり、外国人留学生の教育に関して各学部学科との連携が著しく希薄なために、妥当性のある検証を行う体制ができていない。 ・また、留学生科目について国際交流センター管理委員会で点検する体制が整っているが、留学生教育・日本語教育の専門的な観点による検討は脆弱。

【効果が上がっている事項】

4-2-1	・従来の留学生科目を引き継ぐ形で見直し、2011 年度に新カリキュラムを導入した。 ・新カリキュラム導入に伴い、交流学生に対する科目を正規科目として提供している。
4-2-2	・留学生科目を、1) 言語コース、2) 内容コース、3) 活動コース、以上 3 つの柱に分け、それぞれ有機的な連携を活かす。具体的には、言語、および日本事情（「日本の歴史」「日本の文化・芸術」「日本の政治・経済・社会」）を開講し、その応用編としてフィールド・ワークを設置する。
4-2-3	・留学生専用のパンフレットを作成し、年度当初、留学生ガイダンスを実施する。 ・『チューター・ハンドブック』に基づき、交換留学生に対し日本人チューターによる支援を行う。
4-2-4	

【改善すべき事項】

4-2-1	・留学生科目の順次性ある体系的配置を可視化できるように工夫する。 ・それとともに、体系的配置の拠り所となる、留学生教育における教育方針の明確化に努める。
4-2-2	・留学生カリキュラムの改善と拡充を図ることを目的に、カリキュラム改正に着手する。
4-2-3	・非漢字圏からの留学生受入れの増加を目指し、日本語教育の支援体制を構築する。
4-2-4	・国際交流センター管理委員会として、検証する体制や仕組みを構築する必要がある。

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

国際交流センター規程、各学部履修の手引き、派遣留学生一覧、外国人留学生一覧 文部科学省 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/
--

《指標データ》

データ集（表 1 1）学生の国別国際交流

（表 1 2）海外への派遣学生数

(表 1 3) 国別留学生数 (学部別) の経年変化

(表 1 4) 教員・研究者の国際学術研究交流

(表 1 5) 国際交流協定締結機関数・締結国数

Ⅲ【達成目標】目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価				
			2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～ 2018)	4-2-2・留学生科目の改善と拡充を図る。	・留学生科目を見直し、新カリキュラムが導入されている。	→				
	4-2-1・留学生科目にナンバリングを導入する。	・留学生科目にナンバリング導入されている。	→				
14 年度 目標	4-2-2・留学生科目の改善と拡充のために、新カリキュラムの導入について検討を開始する。	・左記の検討過程が国際交流センター管理委員会に報告されている。	→	C			
	4-2-1・留学生科目にナンバリングを導入することの検討を始める。	・左記の検討内容が国際交流センター管理委員会に報告されている。		C			